



多気営農センターたより



平素は、JA事業に格別なるご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
秋本番、秋の味覚の収穫が始まり、秋が深まるにつれ最盛期を迎えていきます。極早生みかん・柿の収穫、いずれも適期収穫、適期出荷を心がけていただきつつ、体調に十分注意して収穫作業を行って下さい。



果 樹



柿 ※秋肥の施用 エコ化成（8-8-8）を80kg/10a

秋肥は樹勢回復と翌春の初期生長に必要な養分を備えるため、重要な施肥となります。

施用については、落葉期を迎えると、根の活動も弱まり、吸収力が衰えてしまうため、葉の健全な時期に施します。あくまで目安ですが、早生次郎で10月上旬、普通次郎で11月中旬頃となります。

※落葉病は樹勢が衰弱することも発病の原因となります。落葉病の多発園では時期を早め、より多くの肥料が吸収できるように心がけます。

みかんは11月になったら秋肥を必ず施用します。（地温が15度までに）

結果で弱った樹勢を回復させ、1～2月の花芽分化を促進し、春枝、葉の伸長に必要な養分を補給するのが目的です。極早生は収穫後、早生・普通温州は11月上中旬に施用しましょう。

○みかん配合（秋）... 120kg 有機化成A805... 100kg

防除は着色促進・貯蔵病害防止・秋ダニの防除の準備をします。

◎収穫前の作物への薬剤散布については使用時期に十分注意し使用して下さい。



秋冬野菜関係



今年は、長雨により定植は遅れ気味ですが、その後の活着については、概ね良好と思われます。定植後の生育遅れを補うために、葉面散布を行います。また、今年は雨、台風が多い年です。晴れ間を逃さず防除を行ってください。

◎病害虫発生状況 ⇒ チョウ目害虫は、昨年も発生が多かったため、今年についても発生量が多いと予想されます。老齢になるにしたがって薬剤の効果が低下するだけでなく、食害が著しく増加するため、若齢幼虫のうちに防除する必要があります。

また、雨が続くようであれば、病気に対する防除も併せて行ってください。

おすすめ防除 キャベツ・白菜・なばな等

チョウ目害虫 ☆プロフレアSC 4,000倍 ☆アフーム乳剤 2,000倍

べと・軟腐病 ☆Zボルドー 500倍 ☆バリダシン液剤 500～800倍

※農薬・登録内容は一部抜粋のため、使用前には必ずご確認ください。



肥料・農薬など栽培に関するお問い合わせは



多気営農センター39-6170 または各営農指導員携帯へご相談ください。

営農フェア

11月13日(金)の1日限り 9時～16時

開催場所:JA多気郡 多気営農センター

【肥 料】

限定大特価販売

高度化成(オール14)

- 園芸化成肥料 ●苦土石灰マグカル
- 燐硝安加里S646 ●牛ふん

【農 薬】茎葉除草剤 等 **価格当日発表!**

**営農相談
コーナー**

- 土壌診断 ●肥料設計
- 農薬相談 等

お気軽にご相談ください

**その他
開催内容**

**西部アレフ(株)主催
生産資材掘り出し物処分セール**

- シロアリ相談会
- 住宅リフォーム相談会
- 墓石相談会

多気郡多気町四神田340-2
JA多気郡多気営農センター
0598-39-6170